



シルバーだより

# はつらつ 笛吹

第18号

平成 29 年 7 月 20 日 発行 公益社団法人 笛吹市シルバー人材センター  
〒406-0033 笛吹市石和町小石和751 TEL 055-225-6703  
HP <http://www.silver-brain.com/yamanashi/fuefuki/>



## 臨時総会開催される

### 県下初！就業時間の拡大・新理事長の選任

シルバー業務は、臨時的・短期的・軽易な業務に限定され週20時間までの就業となっています。この度、国の「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、労働者派遣・職業紹介に限り週40時間までの就業が可能になりました。このため笛吹市シルバー人材センターでは、全国に先駆けその手続きを進め業務拡大に係る国への協議が終わり、県の指定をいただくことができました。

このことを受け本年3月28日（火）に笛吹市スコレーセンターにおいて臨時総会を開催し、当センター定款の一部変更を行い、本年4月から時間を拡大して就業（当面、週30時間未満）することが出来るようになりました。

また、併せて理事長の選任を行い「山下政樹」氏が新しく理事長に就任しました。



## 理事長就任あいさつ



理事長 山下政樹

平成二十九年三月開催の臨時総会並びに理事会におきまして、新しく理事長に就任いたしました山下政樹であります。

当シルバー人材センターは平成四年に設立され、合併を経て平成二十四年に「公益社団法人」となり社会的責任も重くなった中で、本年度で設立二十六年目になります。

その間、我が国は世界に類のない速さで少子高齢化社会を迎え、さらに世界経済の先行きが不透明な中、シルバー人材センターを取り巻く環境はより一層厳さを増しています。こうした中、一億総活躍社会の実現に向けて、高齢者の皆様が生涯現役として多様な形で社会参加することは、これからの人口減少社会や働き手不足を支える最

も重要なことと考えております。

今後も、センターが高齢者の就業の場と地域貢献の場となって活力ある地域社会づくりに寄与するため、センターの健全な運営と発展に取り組んで参ります。

何卒皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

## 役員名簿

理事長	山下政樹
副理事長	角田義一
常務理事	河野修
理事	天野攻
理事	渡辺きぬ子
理事	望月輝子
理事	山下宏光
理事	抽那元和
理事	志村基光
監事	小倉一次
監事	石川園枝

## 定時総会で会員表彰

平成二十九年五月三十日（火）に笛吹市スコレーセンターにおいて、平成二十九年定時総会が開催されました。平成二十八年事業報告及び決算、平成二十九年事業計画及び予算等が審議され全会一致でそれぞれ原案のとおり承認されました。

席上、会員歴十五年以上でシルバー事業に貢献のあった九名の会員が山下理事長から表彰されました。おめでとうございます。

## 表彰会員

小倉嘉治様 広瀬雅彦様  
 原田政良様 高田とく子様  
 鴨下秀雄様 金田正広様  
 鶴田 薫様 市川亀雄様  
 市川君江様

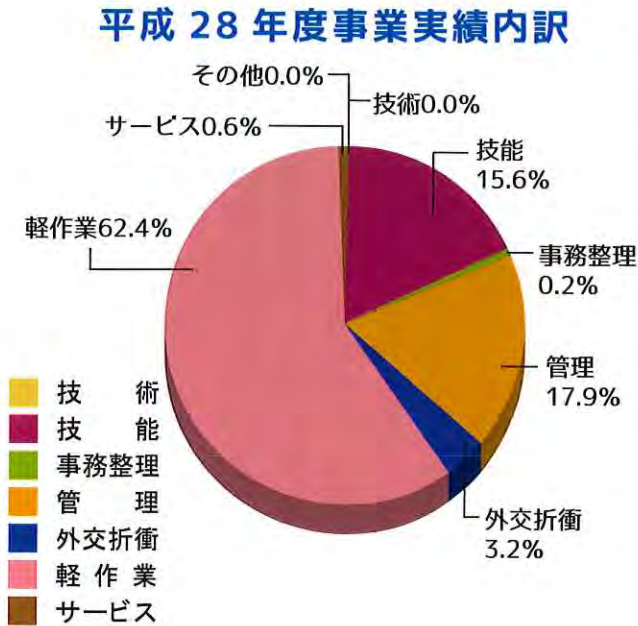


## 事業運営状況

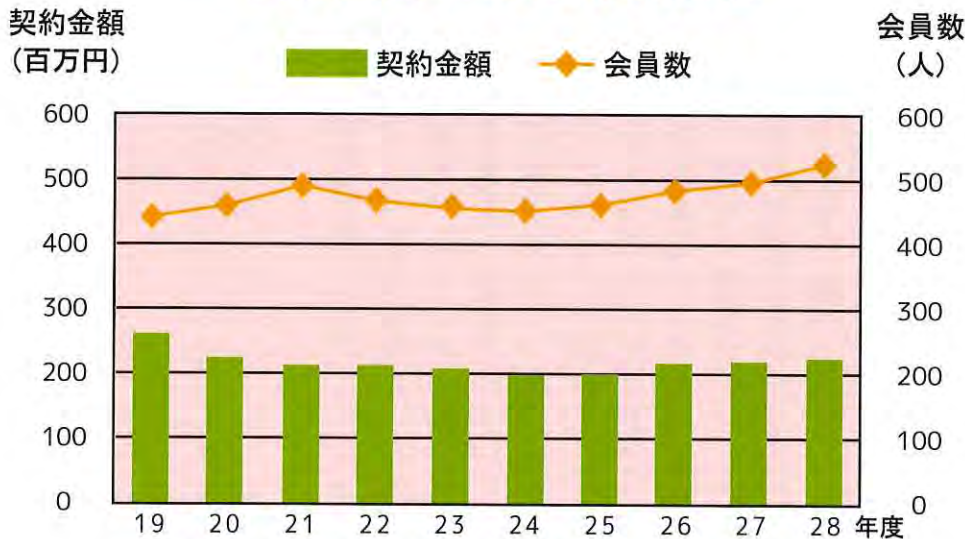
### ● 請負・委任による実績

平成二十八年度の請負・委任による契約金額は約二億二千四百万円となり、四年連続で二億円を突破し、対前年度比一〇四%、金額にして九百万円の増となりました。

円グラフは平成二十八年度の職群別の契約金額を表したものです。



### 契約金額と会員数の推移



棒グラフと折れ線グラフは、過去十年間の請負・委任の契約金額と会員数の推移を表したものです。  
全国的に契約金額、会員数とも減少傾向の中、当センターにおいては、平成二十五年度から伸び続けています。

### ● 派遣事業実績

これまでの請負や委任による就業に加えて、平成二十七年一月からシルバー派遣事業を開始しました。

派遣になると、就業先の従業員との混在作業や指揮命令の下で働くことが可能となり、発注者のニーズに応えるとともに、会員の働き方の選択肢が増えることとなります。

平成二十八年度の契約金額は約一千三百万円となり、対前年度比二百四十%、金額にして約八百万円の大幅な増となりました。

主な派遣先は甲府・峡東クリーンセンターのゴミ計量・ゴミ分別・案内等の業務、学校給食センター配送業務、学童保育送迎業務、宿泊ホテル利用客の送迎業務、社協デイサービス送迎補助、商工会（指定ゴミ袋）配達業務などです。





## 就業先紹介

笛吹市境川町内に建設を進めていたごみ処理施設「甲府・峡東クリーンセンター」が本年四月一日から本格稼働し、シルバー派遣会員二十五名が就業しています。仕事の内容は、持ち込まれるゴミの受付・計量、誘導、ゴミの破袋検査、施設見学者の案内業務等です。四市(甲府市・山梨市・甲州市・笛吹市)の可燃ごみ等が毎日(日曜日を除く)持ち込まれるので相当な量になります。時間帯によっては順番待ちで車が何十台も並び、時には大きな声をされることもあるそうです。

また隣にある「寺尾の湯」の緑地帯の除草作業等を請け負っています。敷地が広大なため草の成長に作業が追いつかないほどです。

本年六月七日(水)にクリーンセンターの施設見学に当センターの理事・広報編集委員・事務局の十七名で行ってきました。施設の案内業務は、シルバーから派遣された会員六名が担当しており、当日は、まず派遣会員から説

明を受けビデオを見た後、施設内を見学しました。

今回、案内をしてくれた会員の皆さんから話を聞きました。

「四市の小学校四年生が社会科授業の一環として、一般は県内から行政機関、各種団体やグループの方がほぼ連日見学に見えます。普段人前で話しをすることが無かったので、最初は緊張の連続でした。大人と子供さんには説明の仕方を工夫しなければならず、六人でその日の反省をしながら勉強を重ねています。また、施設が大きく広いので、一日歩きながらの説明は足がパンパンになります。帰りがけに、『説明よく分かったよ』と声をかけてもらった時は、明日のエネルギーをもたらした気がします。一人でも多くの方に施設見学に来ていただいて、ゴミの分別や資源化に関心を持っていただければと思います。」



施設見学の様子





## ボランティア活動

恒例になりました「金川の森」の清掃活動を平成二十八年十一月四日(金)に行いました。当初予定していた十月二十八日(金)が雨天のため順延となったことで、当日の参加者は六十四名とやや少なめでしたが、気持ち良く公園を利用していただけるよう全員で除草作業等に汗を流しました。

また、本年四月二日(日)に開催された第十三回桃の里マラソン大会のコース案内に、センター会員百名がボランティアとして参加しました。今年はゲストランナーに「猫ひろし」さんを迎え、三千人近いランナーが桃源郷を走り抜けました。

今年の大会は桃の開花が遅れていたためその分までコース案内の会員さんたちは、選手が通るたびに手を振り、大きな声で声援を送っていました。



## 交通安全教室

会員の就業先への行き帰りや就業中の交通事故をなくし、交通安全意識の高揚を図るため、本年四月十一日(火)にスコリーセンターで開催された「春の交通安全教室」に会員三十名が参加しました。今回は衝突動画を見ながらの講話、「シートベルトコンビンサー」という実験車に乗り、実際にシートベルトを装着した衝突実験の体験、反射



ボランティア活動

材の効果実験などを体感しました。シートベルトの衝突実験は時速五キロメートルでしたが、参加者は予想以上の衝撃に思わず大きな声を上げていました。

また、小さな反射材を靴に貼ったり身に着けただけでも、夜間ライトに照らされると、ドライバーに認識されるなど大きな効果のあることがわかりました。



シートベルト実験車



## 市民まつりに出店

笛吹市合併十周年を記念して始まった「笛吹市民まつり」に、当シルバー人材センターを市民にもっと知っていただくため毎年参加しています。平成二十八年十月十六日（日）開催の市民まつりには、多くの来場者に立ち寄りいただけるよう出店ブースで「煮たまご」と「味噌こんにやく」を安価で提供しながら、センターの周知を行いました。お陰様で大勢のお客様で賑わいました。



市民まつりに出店

## 認知症サポーター養成講座

高齢化の進行とともに認知症高齢者は増え続けており、厚生労働省による平成三十七年には全国で七百万人のぼると推計されています。これは六十五歳以上の高齢者の五人に一人が認知症になるということになります。

当センターでは、福祉・家事援助サービス事業やワンコインサービス事業を実施しており、高齢者宅に伺う機会が多いことから、本年三月十日（金）に女性会員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、会員二十名が受講しました。講師の市の保健師さんは、認知症は皆さんの家族にも起こりえる身近な病気で、認知症を正しく理解することから始めることが大切であると話されました。講座終了後、受講者全員に認知症サポーターの「オレンジリング」が渡されました。



認知症サポーター養成講座

## 見守りネットワーク協定

シルバー人材センターでは、地域の高齢者を見守っていく「ふえふき地域見守りネットワーク」の協力事業所として、平成二十六年十月三十一日に市社会福祉協議会と協定を結んでいます。会員が仕事や日常生活の中で、「おや？変だぞ」「なんか気になる」「こない時は、まずセンターまで連絡をください」。



## 会員の皆さんへ

### 接遇の大切さ

シルバー事業を発展させていくには、お客様（発注者）に満足していただける仕事をすることが大切です。お客様から、「あんな態度では二度と仕事を頼みたくない」なんて思われたら最悪です。そのためには、常日頃から次のことに気をつけましょう。

### あいさつ

あいさつは、人間関係をつくる基本です。仕事の始めと終わりに、まず自分から「あいさつ」をしましょう。

### 身だしなみ

身だしなみは、自分の能力や人柄を伝えるものです。常に「髪やツメ、服装」などに気を配り、誰にも感じの良い身だしなみを意識しましょう。

### 言葉づかい

言葉ひとつで相手に不快感を与えてしまいます。言葉を丁寧に、ゆっくりとわかり易く話しましょう。

### 笑顔で

笑顔は人の気持ちをほぐし、心を和らげます。常に明るい笑顔で話しましょう。

### 時間を守る

仕事の開始時間十五分前に到着し、まず仕事に取りかかる準備を行い、安全かつ丁寧な仕事に心がけましょう。

### 会員による獲得運動

センターでは、就業拡大と会員拡大を推進しています。しかしながら、センター職員だけでは取り組みが限られています。会員による「一人一仕事」「一人一会員」獲得運動を展開していきますので、ご協力をお願いします。

## 技能講習会のご案内

- 整理収納・清掃・接遇講習会  
三日間（十月・十一月）
- 調理補助講習会  
四日間（九月・十二月）
- 介護入門講習会  
三日間（十二月・二月）
- 緑地管理講習会  
三日間（十月）
- 植木管理講習会  
四日間（九月・十月）
- 室内リフォーム講習会  
三日間（十一月・二月）
- パソコン基礎講習会  
三日間（十一月・二月）

詳しいことは、センターまで気軽にお問い合わせください。

☎ 055(225)6703  
笛吹市シルバー人材センター





## センターからお知らせ

### ▼家庭・企業・団体の皆さん

「親切」「丁寧」をモットーに、お電話一本でお仕事をお引き受けします。まずは、センターまでお電話（☎〇五五―二二五―六七〇三）をください。

### ▼お引き受けできる仕事

- **技能分野**：庭木・果樹の剪定、障子・網戸・ふすまの張り替え、簡易な大工仕事、ペンキ塗り など
- **一般作業分野**：草刈り、草取り、農家の手伝い、屋内外の清掃 など
- **管理分野**：施設管理、駐輪場管理 など
- **事務分野**：文章整理（パソコン）事務、毛筆筆耕、賞状・宛名書き、受付事務 など
- **サービス分野**：福祉・家事援助サービス、ワンコインサービス事業 など

### ▼高齢者の皆さん

センターの会員になって、あなたの豊富な経験・知識・技能を活かしてみませんか。まずは、センターまでお電話（☎〇五五―二二五―六七〇三）をください。

### ▼会員になるには

- ・原則六十歳以上の健康で働く意欲をお持ちの方
- ・シルバー人材センターの趣旨に賛同された方
- ・入会説明を受け、入会申込書を提出し年会費を納入してください。



## 愛媛県西条市から視察研修

本年五月十一日（木）に愛媛県西条市の市議会議員さん一行が当センターのワンコインサービス事業の視察研修に見えられ、今後の事業の参考にしたいと話されました。

## 編集後記

今年も暑い夏が到来中です。会員の皆さん健康管理に十分留意し、仕事においては安全就業と同時に「接遇の大切さ」を再認識して、地域社会の期待に貢献できるよう頑張りましょう。

### 〈広報編集委員〉

倉橋 徹	中村 征夫
後藤 儀治	平松由美子
荒川 和雄	千田 正見
岡田 京子	
河野 修	島田 真弓